

戦略の位置づけ

- ・基本計画、SDGs未来都市計画等の方針に沿って、堺が展開すべき観光の方向性を提示
- ・安全・安心の確保と経済の活性化を両立し、未来へ継承するための持続可能な施策を強化
- ・大阪府・大阪市が取り組む府域周遊・滞在型観光促進に向けて、施策の方向性を共有

期間

5年（2021年度～2025年度）

- ※新型コロナウイルスによる社会への影響を鑑み、段階的な取組を実施
- ※コロナの状況等に応じて、期間途中において戦略を見直すことも想定

堺観光を取り巻く状況

社会情勢の変化による観光動向

- ・グローバル化の進展によりインバウンド市場が拡大したが、新型コロナウイルスによる国家間の移動が大幅に減少
- ・ライフスタイルの多様化による旅行形態の変化
- ・感染症リスク等の広がりによる受入環境の変化

今後迎える好機※

- 2021年 東京オリンピック・パラリンピック
- 2022年 ワールドマスターズゲームズ2021関西
- 2025年 大阪・関西万博（日本国際博覧会）
- 2031年 なにわ筋線開業

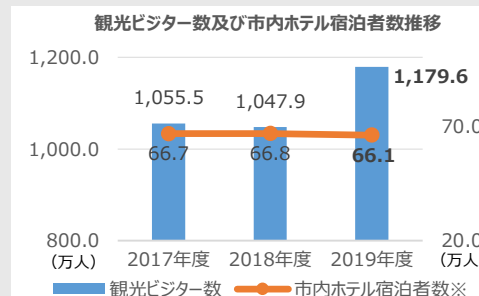
※今後の社会情勢の変化等により、変更される可能性がある

堺観光の課題

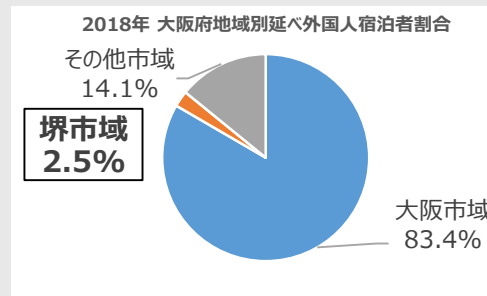
- ・世界遺産登録効果が大仙公園エリア以外へ波及
- ・日帰り観光中心から長時間滞在や周遊促進
- ・関西国際空港から大阪市内や京都などへ向かう観光客の誘客

エリア別 来訪者増加率	対前年度比 (2019/2018)
大仙公園エリア ※1	+49.8%
大仙公園エリア以外 ※2	+ 2.3%
市内エリア全体	+7.9%

※1 堺市博物館、日本庭園、大仙公園観光案内所
 ※2 堺駅・堺東駅観光案内所、21階展望ロビー、さかい利品の社、堺市文化館、堺伝統産業会館、町家歴史館、J-GREEN堺、ハーベストの丘

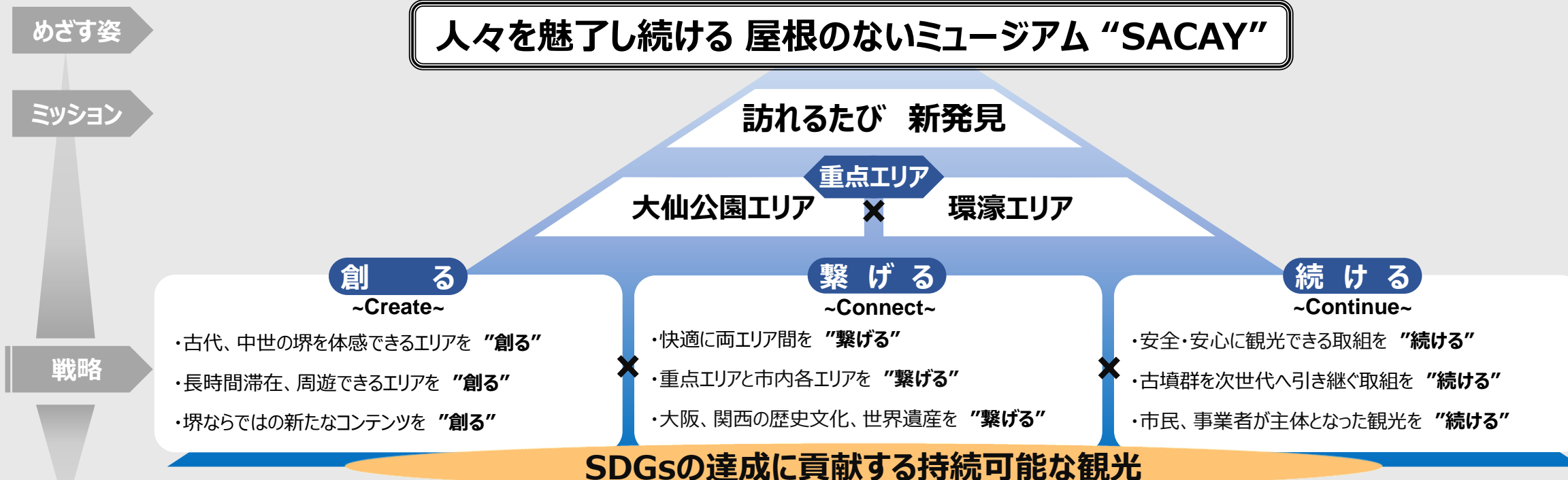


※調査協力いただいたホテルより計上



※大阪府「観光統計調査」をもとに作成

戦略体系



<KPI>	観光消費額単価		×	エリア別来訪者数※		×	リピート率※	
	2019年度	2025年度		2019年度	2025年度		2019年度	2025年度
	16,355円	20,000円		29.4万人 (大仙公園エリア) 182.7万人 (環濠エリア)	60万人 300万人		22% 36%	30% 45%

※国内旅行者に対するwebアンケート調査に基づく推計
 インバウンド需要の回復時に、改めて国外旅行者に関するKPI（観光消費額）を設定

※携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）
 ※エリア内に60分以上滞在する市外からの来訪者

※携帯電話事業者の位置情報ビッグデータに基づく全人口推計（拡大推計）
 ※エリア内に年間で2回以上滞在する市外からの来訪者

フェーズⅠ 【ウィズコロナ・アフターコロナへの対応】

フェーズⅡ 【インバウンドの受入対応、世界遺産効果の向上】

フェーズⅢ 【万博開催に合わせた取組強化】

2021 (R3)

2022 (R4)

2023 (R5)

2024 (R6)

2025 (R7)

堺でしか体験できない観光

- 古墳群を上空から眺望できるガス気球の設置、試行
- 伝統産業体験機能の強化
- 環濠の歴史を体感できるデジタルコンテンツの造成・活用
- 高付加価値の宿泊メニューの造成
- 夜間、早朝での誘客イベントの造成

市民、団体、事業者が活躍する観光

- 古墳群や町家などを活用した古代、中世の堺の疑似体験コンテンツの造成
- 茶の湯や伝統行事などを活用したインバウンド向け文化体験メニューの造成
- 国際交流団体、スポーツ団体などによるショートステイメニューの造成、活用

マイクロツーリズムで安全・安心な観光

- 大阪市内、府内からの誘客、相互周遊
- 関西の世界遺産エリアからの誘客、相互周遊
- 街道や先人をテーマとした広域観光の推進

堺周辺のエリア、地域とともにインバウンドで賑わう観光

- 関西国際空港の地元・泉州地域や航空会社との商品造成、共同PR
- 万博来場者をターゲットとした商品造成及び誘客プロモーション
- 熊野古道や高野山など関西の世界遺産エリアとの共同PR、相互周遊
- MaaS、次世代モビリティを活用した重点エリアなどの周遊促進

これまで継承されてきた歴史文化資源を次世代へ残しつつ、新たな魅力を生み出す観光

- 市内観光施設の活用を通じた歴史文化資源の情報発信
- 感染症拡大を防ぐ安全・安心なサービスの提供
- キャッシュレスなど非接触での決済機能の普及促進
- 受入環境の充実・向上
- ガス気球体験を通じたシビックプライドの醸成
- 古墳サミットの開催等をきっかけとしたおもてなし機運の醸成
- 博物館機能の強化

主な
ステークホルダー

堺観光
コンベンション協会

大阪観光局
KIX泉州
ツーリズム
ビューロー
交通事業者
宿泊・飲食
物販事業者

大阪府・大阪市
泉州・南河内
などの自治体
関西観光本部
関西広域連合

堺観光
ボランティア協会

市民
地元団体

創る

繋げる

続ける

※上記は取組例の一部です。なお、新型コロナウイルスの状況等に応じて、期間途中に取組を見直す場合があります。